

地方創生推進交付金は、地方公共団体による地域の実情に応じた地方創生に資する事業の効率的かつ効果的な実施を図ることを目的として、平成28年度に国において創設されました。事業費（交付対象経費）の1/2が交付金として国から交付されます。

本市では、令和4年度においては、市単独事業を2事業、群馬県等との広域連携事業を1事業実施し、計3事業の事業費（交付対象経費）の1/2である約1,472万円が交付されました。各事業の詳細は、以下をご覧ください。

本市交付額（令和4年度） 1,472万7,544円

事業①	まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト
担当課	商工労働課・都市開発課・企画調整課
事業期間	令和4年度 ～ 令和6年度
事業概要	<p>まちなかでの創業希望者等へのワークショップでの啓発や補助金の交付により、まちなかにおける創業を促進するもの。</p> <p>また、まちなかのにぎわい創出のイベントを発展、拡充させるとともに、本市の魅力やにぎわいづくりの取組等を紹介する新聞記事を掲載することで、移住者の増加促進を図るもの。</p>

事業費	996万2,058円（うち交付金充当額：498万1,029円）
-----	---------------------------------

成果目標	成果目標① まちなかで新たに創業した事業者の数（社）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	（事業開始前）	4社	2社
	成果目標② まちなかワークショップ参加者数（人）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	（事業開始前）	10人	27人
	成果目標③ まちなかにおけるにぎわいづくりに資する事業への来場者数（人）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	27,700人	30,000人	39,400人



まとめ（検証結果）



▲地方創生☆政策アイデアコンテスト2022表彰式の様子（内閣府HPより）

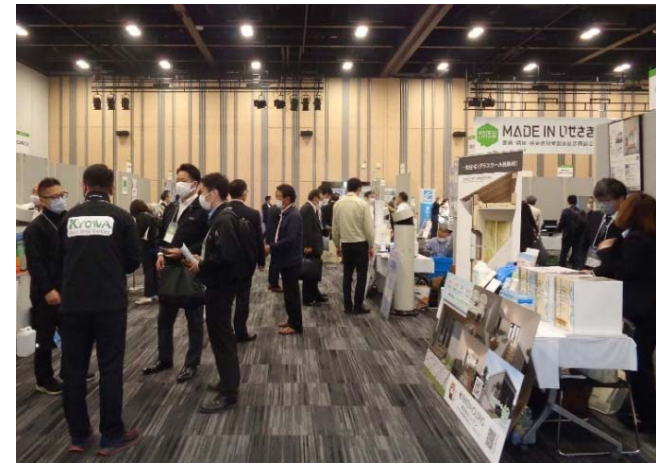
成果目標②「ワークショップ参加者数」及び成果目標③「事業への来場者数」は令和4年度目標をそれぞれ達成し、特にまちなかワークショップ参加者からは、「地方創生☆政策アイデアコンテスト2022」（内閣府）で優秀賞を受賞する者が出るなどの成果が得られた。

一方、成果目標①「まちなかでの創業者数」については2件にとどまり、令和4年度の目標を達成することができなかった。これは創業支援の取組みが創業を志す者に十分に伝わっていないことが原因であると考えられ、次年度以降の課題として改善していく。

改善に当たっては、支援制度の周知や官民連携による創業サポート体制の強化に取り組むために、令和6年度事業費の増額を予定している。

令和4年度事業を総括すると、未達成の成果目標もあったものの、総じてまちなか創業とにぎわい創出の推進に効果があったものと考えられる。

事業②	Made in いせさき しごと創生プロジェクト
担当課	企業誘致課・文化観光課・企画調整課
事業期間	令和4年度～令和6年度
事業概要	市内企業の技術展や近隣市町村の事業者を招いた展示商談会を開催するほか、県内自治体、金融機関、商工団体が共同開催する展示会に、共同開催市として参加し、市内企業の販路拡大を支援するもの。 併せて、県外の展示会に市内企業との共同出展ブースを設営し、販路拡大と併せて先進事例等の情報収集を図るもの。
事業費	1,929万3,030円（うち交付金充当額：964万6,515円）



成果目標	成果目標① 製造品出荷額等（億円）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	11,788億円（令和元年）	12,025億円（令和2年）	10,060億円（令和2年）
	成果目標② 市内・県内展示会での新規契約数（件）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	（事業開始前）	10件	10件
	成果目標③ 県外展示会での新規契約数（件）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	（事業開始前）	5件	2件
	成果目標④ 移住相談会等の参加者数（人）		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	232人	237人	253人

#### まとめ（検証結果）

市内・県内展示会の開催により市内企業の10件の新規契約に繋がり、販路拡大支援をすることができ、成果目標②「市内・県内展示会での新規契約数」の令和4年度目標を達成することができた。

また、成果目標④「移住相談会等の参加者数」については、目標を達成することができた。今後もHP等で本市の魅力を発信しながら、各種相談会へ参加し、適切な情報提供に努める。

一方、成果目標③「県外展示会での新規契約数」については、目標に届かなかった。伊勢崎市共同出展ブースへの来場者を増やし、商談までの確率を上げられるよう改善案を検討する。

令和6年度には、更なる販路拡大支援を図るために、市内製造業者のマッチング用ポータルサイトである「いせさきものづくりネット」を改修するため、事業費の増額を予定している。

令和4年度事業を総括すると、未達成の成果目標もあったものの、総じてしごとの創生の推進に効果があったものと考えられる。

事業③	産業ニューノーマル創出事業 ※群馬県主体の広域連携事業
事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度
事業概要	<p>産学官の連携及びデジタル技術等の活用や、ITに関する講習会の実施、県内事業者の連携や新たな取組への補助等により、デジタル技術活用と新ビジネスモデル構築を実現するもの。また、SDGs関連ビジネスの普及啓発や環境保全に活用できる民間アイデアの募集により、官民共創によるSDGsビジネスを推進するもの。</p> <p>※群馬県主体の広域連携事業であり、伊勢崎市は中小事業者向けのSDGsに係る研修の負担金20万円を支出する。</p>

市事業費	20万円（うち交付金充当額：10万円）
------	---------------------

※群馬県主体の広域連携事業であり、次表の各成果目標及び実績は、当該広域連携事業として群馬県が設定したものであるため、伊勢崎市の事業に対応するものではありません。

成果目標 (群馬県全体)	成果目標① 民間事業者による新ビジネスモデル構築件数(件)		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	15件	25件	県において集計中
	成果目標② デジタル技術の活用等により生産性が向上した事業者数(社)		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	3社	6社	県において集計中
	成果目標③ 尾瀬環境保全、プラごみ削減 優秀プランの実施事業者数(社)		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	1社	23社	1社
	成果目標④ SDGs企業選定制度選定企業数(社)		
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績
	45社	85社	90社(速報値)

連携自治体	群馬県、前橋市、伊勢崎市、富岡市、みどり市
-------	-----------------------

担当課	商工労働課
-----	-------



群馬県では「ぐんまSDGsイニシアティブ」宣言の下、人口減少・高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりを推進することとしています。SDGsは、その目標達成への貢献により「新たなビジネスチャンス」や「企業の魅力向上」、「人材の獲得」など、様々な効果が期待されています。このような流れから、県は、SDGsを企業の経営戦略として活用する企業を働き、持続可能な経営への転換を促すため、本事業を実施します。

また、伊勢崎市では「第2次伊勢崎市総合計画(後継基本計画)」の実施計画をSDGsと連動させて、持続可能なまちづくりに向けた取り組みを進めています。市が企業の課題に応じて本事業が社会課題や地域貢献を志願においた持続可能な経営や事業展開について考える機会となり、SDGsの達成に向けた社会全体への貢献に、積極的な企業参加をお待ちしています。



まとめ(検証結果)

左表の成果目標は、連携自治体において展開される様々な事業の集合体に対して設定されたものであるため、伊勢崎市分として成果測定はできない。

伊勢崎市においては、群馬県中小企業SDGs始動事業として「ぐんまSDGsコーチングプログラムinいせさき」を中小事業者向けに全4回開催した。3事業者が参加し、専門家による集合カウンセリングを通じてSDGsの理解を深め、経営戦略における課題を顕在化し、経営に役立つ目標設定や活動計画作成のための手法を学んだ。

社会課題や地域貢献を念頭においた持続可能な経営や事業展開について考える機会を提供することができた。